

# 勝利を期して 広島市長選 スタート



平成3年  
1月19日  
速報

発行所

広島県歯科医師  
政治連盟  
広島市中区富士見町11-9  
TEL (082) 241-4197  
編集兼発行人 青井隆男

広島アジア大会を  
成功させよう

杉本候補の必勝を！

広歯政連推薦候補者

## 杉本すみお氏力強く第一声

二月三日 投票日 目差して



5,000人を超える支持者に手を上げて応える杉本すみお候補

代化を目指しての都市づく  
りの新しいリーダーを決定  
する大切な選挙。  
我が杉本純雄候補は十九  
日、広島市中区鉄砲町の事  
務所で盛大に出陣式を行っ  
た。午前八時三十分、神事  
により始まった。必勝を祈  
願する祝詞奏上に続いて玉  
串奉奠、何がなんでも勝た  
ねばならぬの熱意と決意が  
みなぎるなか、自民党本部  
より中西啓介副幹事長  
が、自民党県連より佐藤守  
良会長、増岡博之、栗屋敏  
信、岸田文武代議士を始め  
地元選出の国会議員多数、  
県議、市議多数が応援にか  
けつけた。

落久保後援会長の挨拶に  
ついて大山県連幹事長、  
荒木武広島市長が応援演  
説。地元選出の宮澤、藤田  
一世紀へ向けての広島近  
参議、増岡、栗屋、岸田衆

四期十六年の市政を勤め  
た荒木市長の引退にともな  
う、今回の広島市長選挙は  
十九日告示され、我が広歯  
政連推薦の杉本純雄候補は  
元氣よく第一声を発し、二  
月三日の投票日まで十五日  
間の選挙戦に入った。  
今回の選挙は三年後の広  
島アジア大会の成功と二十  
一世紀へ向けての広島近

「この選挙は自民対革新の  
戦いでもある。絶対に負け  
られない」と挨拶。  
万雷の拍手と歓声に迎え  
られた我が杉本純雄は選挙  
カーより五千人を超える大  
支持者を前に、顔を紅潮さ  
せ「豊かで活力ある平和都  
市づくりを基調に、平成六  
年に開催される広島アジア  
大会を成功させ、中国四国  
地方の中枢都市となるため  
に、都市基盤の整備に全力  
を尽くす。絶大な支援を  
願う」と力強く第一声。連  
日の疲れも見せず多数の支  
持者の拍手を、奥原県議会  
議長の方才三唱の声に送ら  
れて市内へ出発した。  
また、杉本純雄候補は夫  
人を伴って、市内遊説を前  
に、恒久平和、核兵器の廃

絶を願って原爆慰霊碑に参  
拝した。因みに、杉本純雄  
候補は、核戦争防止国際医  
師会議（IPPNW）の日  
本支部長であり、一昨年、  
この広島での世界大会を  
大盛會裡に開催した。その  
功績は全世界の深く認める  
ところである。時あたかも  
湾岸危機に端を発した湾岸  
戦争、折しも中東では戦火  
の拡大が心配されている。  
広島県歯科医師政治連盟  
は、三師会共闘を軸に必勝  
を期して幅広い、きめこま  
やかな運動を言う長岡会  
長のもと、全員一致団結し  
今後共出来る限りの応  
援、支援を行う。杉本すみ  
お候補のご健闘を祈る。  
また、ブレ統一地方選と  
も言われている、棄権する  
ことなく、誘い合せて投票  
を。

### 清潔・誠実・精一杯のクリーン市長を！

生命と地球をまもる、世界にひらかれた「広島」を。広島市民の手で「真に  
生きがいのある」街づくりを。私達の後に続く者のために、今、確かに…。

一九八九年十月、広島市で核戦争防止国際医師会議  
（IPPNW）が開催されました。米ソの二人の会長  
を始め、世界七十六ヶ国から一、三〇〇人もの医師及  
び医療関係者が来広し、国内の医師、医療関係者を合  
わせて計三、〇〇〇人が集い、「次代の子供達に、核の  
恐怖と被害を残さないために、今、我々が核兵器を廃  
絶する行動を」と決議し、世界各国にアピールを行  
いました。

この核の問題を含め、今、地球の環境問題が国境を  
越えて大きくクローズアップされています。

被爆から四十五年を経過した現在、広島は市民の力  
で国際平和文化都市として発展し、三年後にはアジア  
競技大会が開催されるまでになりました。

しかし、今後、真の国際平和文化都市として世界平  
和の実現のために、その役割を担うには、私達市民一  
人一人が生命の尊さを再認識し、生命と地球を守る行  
動を行うと同時に、そのメッカとしての都市機能を持

った世界にひらかれた街づくりを急がなければならま  
せん。  
目先の変化に捕われ、いたずらに中央を模倣した  
「ミニ東京化」ではなく、そこに生きる私達のより豊  
かで快適な生活のための基盤整備はもちろん、福祉・  
教育の充実、経済の活性化を推進し、私達市民の手で  
「真に生きがいのある」街づくりを実現しなければな  
りません。

私達の後に続く者のために、今、確かな選択の時を  
迎えています。

IPPNWの思想や、外国の例を見るまでもなく、  
生命の尊さや学術的な理念を持つ職種の人物が自ら政  
治活動を起こしている例は数多くあります。

国際都市「広島」の首長は広島市長には、世界に通  
用する実績と確固たる理念、そして、それを実現する  
力を持った人を選ばなければなりません。  
(新しい広島をつくる会)